

見直せ！メンタルな ハイカラ神戸の源流

□座談会出席者（敬称略・順不同）

葦原 博之（サノへ社長）

大内 信行（マルダイ社長）

永田 耕一（永田良介商店社長）

米谷 玲子（神戸服装専門学校校長）

植村 孝一（マック社長）

大島 智恵（ベニー毛皮店店長）

平成元年の春四月、神戸市制100周年を迎えました。

開港122年のミナト神戸は、世界との接点の中から「ハイカラ神戸」の文化と伝統を育くんで経済的にも発展して参りました。今月は「ハイカラ神戸」といわれる独自のカラーとセンスを持つ専門店の皆さんにお集まりいただいて、今「ハイカラ神戸の源流」とは何か、そして1989年のハイカラ・モダン神戸とは何かを考え、神戸の専門店の方向と、神戸のファッション都市文化への提言をお願いしたいと思います。



葦原 博之 さん

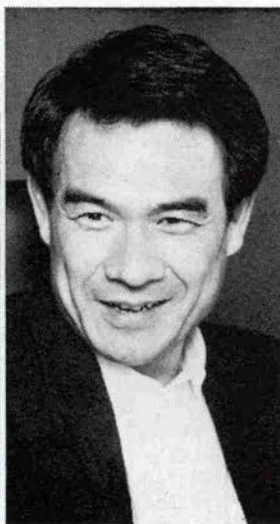
ハイカラ始めは旧居留地の商館や唐物屋から

葦原 昭和六年に親父が創業しまして私が元町に來たのが昭和八年、五十数年元町にこの面を晒しています（笑）。当時は舶来という言葉はなく、唐物屋が舶来品を扱う店の代名詞でした。神戸は外国人が多かったので唐物屋がたくさんありました。初めは雜貨屋でやがて洋品店になり専門店、ブティックになった。ブティックという言葉は無神経に使われていますが、本来頭先から足の先まで統一ブランドで揃えられる店のことです。若い人は流行ばかりで正統的なものに目を向けないが、年配になってくると落着いたベーシックなものが欲しくなる。しかし正統的なブティックというのも難しいです。ブランドの人氣が目まぐるしく変わりますからね。

大島 神戸がハイカラな伝統を持つていることは確かなんです。が、商売となるとシビアで少しでも安ければ良いという関西特有の消費者です。特に神戸は情報口こみで伝わり易く、正統な商売をしようと思うと儲けるつもりではできません。自分が何を売って行きたいのかという自分の願望だけで商売しているのが実態です（笑）。会社をあまり大きくしないで、お客さんと個人的な繋りで



大島 智恵 さん



植村 孝一 さん



米谷 玲子 さん



永田 耕一 さん



大内 信行 さん

やってゆく、頑固でないと難しいと思っています。

植村 マツは明治二十八年「まからず屋洋品店」として創業して九十五年目。親父の代からトラッドなメンズということですが、ハイカラの伝統にあぐらをかいては駄目ですね。近頃、神戸のハイカラ伝統の生え抜きで活躍している店が少なくなって来ます。何故かというの家賃や地代が高過ぎてひどいです。商売を止めて貸すか、儲け主義になって「良い店」という商売ができなくなっている。ハイカラとか文化的素養というのは売り上げでは計れないわけですよ。センター街でも狭くてゴチャゴチャしていた時の方がハイカラだったし神戸らしい面白い店も喫茶店もあった。今のような街、神戸じゃなくてもどこにでもありますやん。自分で土地を持っている店は独自な意地な店をやって欲しいですね。

大内 私の店はボタン屋でして、昭和七年に生田神社の横に店を出したのが初めて五十七年経っています。正直言って儲からないボタンで続けて来ているということは頑固にやって来ると言えると思います。(笑)

父は「ボタンと歩んで六十年」という本を出しています。が、徳島から出て来てまずドイツ商館につとめてまして、浜で仲買人がドンゴロスの袋に様々なサイズの貝ボタンを詰めて〇〇グロスという単位で相場を張るところで、商社からの検査員をしていたのです。日露戦争が始まり、ドイツ商館とイギリス商館のオーナーがテリトリーを賭けて、勝つのは日本かロシアかと賭けをしたんです。ドイツのオーナーは日本最良だったけどロシアに賭けた。それでテリトリーを渡して傷心を抱いてドイツに帰ってしまった(笑)。そこから父はいろいろやって、神戸の山の手から海岸まで自転車でボタンを行商して歩いたわけです。これ、真実の話でございます(爆笑)。

伝統と流行について考える時、流行は螺旋階段状の動き方をするものだという説があります。時代の経済的・社会的・空間的なものの変化につれて、一九二〇年代

の、あるいは三〇年代のいうように、先の時代の伝統と流行の影響を受けながらクリエイティブに発想され、ライフスタイルに合った形で具象化されて発表されるもので、螺旋階段状に変わりながら回っている。こういうポリシーをもって商品を集めてやって行かないと店を続けるという伝統も守れません。

商いはギャンブルよりスリリング

葦原 先日、NHKテレビでボタンをイヤリングやブローチなどいろんな使い方をしているのを見ましたよ。大内 これからは一つの素材の用途を限定せず、マルチ的に開発してゆき、商売人もファッションの動向にスピディに正確に対応してゆかないといけませんね。ビジネス・イズ・ゲーム。おまえはギャンブル好きか、と言われそうですが(爆笑)。商いや事業は人間が作り出した世の中で一番複雑な、かつエキサイティングなゲームだと思います。

葦原 名言です(笑)。

大島 実際、毛皮なんてほとんどギャンブルの世界ですから、ラスベガスなどに行ってもギャンブルをする気になれない。自分の仕事でギャンブルをしているという感じです(笑)。

葦原 私が最初にヨーロッパに買付けに行ったとき、「おまえ、どんなつもりで物を買って来たんや」という親父に「博打や」といってごつい怒られたんですわ(笑)。半年も先にヒットするかどうか、分かっていたら損する馬鹿はいないが、目新しいものを持って帰りたい気持があるわけです。仕入れに行く人間によっても変わってくる。若いものが行ってロタのジーンズを仕入れた時、「セコハン売っとるのか」といわれたけれど二年ほどしたら大流行ですからね。

今から三十年前、英国のバリー社とボタンのことで喧嘩をしたことがある。カシミアのセーターに貝ボタンをつけるのが決まりだったが、セーターもアウトウエアー

として着られるようになって来るからメタルボタンに変えろといったんです。頑として受け入れない。シルエツトもだるまの様な形ばかり、カッティングを変えたらオーダーを出すすまでいったが、今では当時のスタッフがアイディアマンとして大歓迎してくれますよ。

ファッションを意識して一層伝統を大切に

——米谷先生はいかがですか、

米谷 六甲で神戸服装専門学校は人材育成の学校として創立四十三年、私が二代目ですが、ハイカラな神戸のイメージで中・四国・西日本から憧れて生徒が集まるという地の利があります。ポーターアイランドなどの超近代化のある中で、なお心の通った都市の感覚があるからでしょうね。神戸に居て良かったと誇りに思っているんです。

その中で学校経営も、事業内容が良くてPR活動や設備投資が必要で、やはり思いきって賭けてゆくことが必要な時になっていますね。

大島 生徒さんはプロを目差していらつしやいますか？

米谷 そうです。大半はファッショントウンの中のアパレル企業にデザイナー、ボタンナーとして就職します。かつては花嫁修業が多かったんですが、ここ十五年ぐらいファッション都市宣言以来、ビジネスに結びつく勉強を要求されます。確かにファッション都市宣言は方向づけになって意識が変わりました。しかし、ビジネスばかりでなく技術も大事で、そのかねあいがむずかしいですね。オートクチュールの伝統、路線を理解できるところまで技術上でも通過して良い服作りを体験させないと満足は得られません。また、芸術的に観賞できる服作りの技術と能力と審美眼を養って、初めて良い服作りができるしデザイナーの発想もできるんですね。オートクチュールの伝統の一朝一夕にはできない感性を無視すると、薄っぺらな奥行きのない、上辺だけのものになります。それは神戸の伝統を大切にすることが素晴らしいということと同じです。

大内 時代のおしゃれはモガ、モボとかの欧米の影響ばかりでなく、婆沙羅とか江戸時代の伊達とか、皆その時代の先端の現象です。伝統とクリエイティブという両方のラインの影響を掴んで、商品に生かせたらと思いますね。

塩飽列島の舟大工が造った初めの洋家具

——神戸でハイカラの伝統を直に継承されている永田さん、いかがですか？

永田 去年、私が五代目になりまして百十八年ですが、一番ハイカラだったのはじいさんの頃で明治の終りから昭和の始頃、外国文化を摂り入れてこなし始めた頃ですね。今は嗜みくだいてしまって「うちの家具」になり、ヨーロッパ風の家具といわれているけれど、うちでしか作れないし買えないものを頑なに作っています。神戸っ子二月号の石阪春生さんの伯父さんの家の家具、あるいは婦人画報に出た葎屋の稲畑邸の家具、全部うちのクラシックといえる家具ですね。知らなかった(笑)。また二十年前、東京の白木屋に進出した時は、とても手のこんだものだったので、東京のお客さんの永田の家具のイメージが出来た。装飾性を落してどこにでも合わせられるものを作ったら怒られるんです。昨年末、凝ったものを作ってしまったら売れ出しています。元々あったオリジナルラインを見直して引きずり出すのが必要になっています。

葎原 神戸のオリジナルの追求は大事なことです。我々はヨーロッパ文化を受け入れて育って来て、戦後アメリカの影響があったが落着いてくると、またヨーロッパ風の飽きの来ない良さを求めているのですね。

永田 ルーツ調べをしましたら初代は岐阜から出て居留地の商館に勤めて便利屋をしたんです。外国人がヨーロッパから来る時、家具などを全部持って来て帰る時は置いて行くのを引き取って小売したり、修理を請負ったりしたんですね。その頃塩飽列島の伝統的な和船の舟大工が、洋船に変わって仕事がなくなつて流れて来ていたの

で修理をさせながらコピーを作らせたりしていた。そのうち便利屋を止めて洋家具屋になったんですが、ビンの回収とか何でもやってたんですね。古道具屋の鑑札もついている間までありました(笑)。

大内 永田さんで先端を行った考えをされてたと感じるのは、アフターサービス、アフターセールスを徹底してやっていることですね。売った後がおつき合いの始まり、という商いの伝統を持っておられることです。

——神戸にあったオリジナルを考え直すというお話ですが、植村さんのところではいかがですか？

植村 神戸のハイカラの伝統がオリジナル商品で引き継がれて来ているということですね。店の百周年に向けて何かしようという時、やはり僕も考えていることは小売が作るオリジナルということですね。マック・トラッドというのがお客様のイメージだということがはつきりし、より一層トラディショナルなファッションのオリジナル商品を開発して、マックでしか売らない、買えないものを作りたい。開発して、そこそこ成功するとすぐ一般に卸す、というのはアパレルメーカーの下請化です。しかし今、ファッションは完全にアパレル主導で都心のあたりはほとんど直営店ですね。神戸のファッションはハイカラ文化・伝統・独自性を売り込んでどんどん伸びています。しかし全国規模、世界規模になりますと、やはり神戸だけの独自性は薄れて来ます。

小売店はアパレルメーカーの下請けになってノウハウを盗むか(笑)、オリジナル商品を作って対抗するか、サノヘさんのように品揃えで他にない商品を探してオリジナルティを出すかこの三つしか生き残る道はないと思うんです。マックもこの三つの路線を行くわけですが、一番力を入れた商品開発でノウハウを持った人材が欲しいんです。どこで探したら良いかも分らなかつたんですが、米谷先生、是非学校で小売店のオリジナルを生産したいという人材を出して下さい、

米谷 こちらこそよろしく。

葦原 ええのう！(笑)

植村 またこれから神戸の小売は、神戸の伝統による感性を含めた販売方法で神戸らしさを出す必要がありますね。物だけで個性や伝統を作るのは難しい。オリジナル商品というハードとサービスというソフトが相まってゆかなければならない。しかし、結局人材難でかけ声ばかりですわ(笑)。

葦原 中小企業は人を入れるのが難しくなって来ています。うちでも二十年ぐらい居る人ばかりでその下が育たない。ある程度成功して落着くと攻撃精神がなくなってくるんですね。それで時々集めては怒鳴り倒すんですが(笑)。私はまだまだ飽き足らないのだと言ってクレージュの店を羽毛布団の店に変えたんです。世界のホテルを泊り歩いて研究して、ホテルゴーフルリッツさんではうちの羽毛布団を採用していただきましたけれどね。

ステイタスを高めソフトの充実で心温まる街に

— 羽毛布団なら泊まりに行きたいな、というような附加価値をつけてゆくのが大事な時代になって来ますね。

最後に神戸の行政に対して何かございますか？

葦原 六十年も百年もかかってやって来た我々市民の店を大事にして欲しいですね。他からの店があまり増える和伝統を守る店などやれなくります。これ以上店は要りますか？それよりも憩のある街を作って欲しい。大島 神戸市がファッション都市というなら、物を売るだけがファッションではなく、それは街の魅力ですよ。街を歩いている人や、その人のファッション、レストラン、背景などです。土木や建築はしても音楽ホールがないし、中身を充実して背景も美しくして行かないとファッション都市とはいえないと思います。

植村 神戸市に人が住みたいと思うのは街の醸し出す雰囲気でしょう。街のハードとふれあう人間ですね。感じの良い人になるにはやはり良い住環境が必要です。これは民間ではできないので行政が力を入れて欲しいです

ね。今はハードというと即、売り場とホテルですから。

永田 ファッション都市というからには、それなりに洗練されたハイレベルのものを提供して行かなければならないし、買う人が居ないといけない。阪神間や元町、都心のあたりに良い家を作って人が住むようにすれば、買う人が居るから良い店もできる。神戸をそういう街にして行かないと、ファッションという産業で神戸市は生きて行く術があらへんと思います。怒られるかも知れませんが、元町四丁目から向うは全部マンションにしたらい。高級な門番の居るようなマンションとそれより少し下のレベルのマンションをいくつか作って人が住まう仕組みを作るんです。元町は風景も最高やし便利ですから。元町といえればルイ・ヴィトンなども店を出してくれ、そういったものが凝集して来ると街にステイタスが出て来ますし、人もそういう人になって来る。

米谷 山を削るのは、もうこれぐらいにして欲しいですね。ハイテクゆえに、失われるものがあると思います。

ヨーロッパ調の手造りの家具が見直されたり、エスニックファッションが急激に流行したのも自然を取り入れた手作りのぬくもりがあるからですね。神戸市も伝統ある街並みを維持することなどに力を注いでいただきたい。住吉川のモノレール、便利にはなるんですが、景色が壊れたことは残念でなりません。

大内 商業集積をこれ以上増やしてすぐお金になるというのでなく、他から来られた方が神戸はさすがに伝統に磨かれて洗練されたお店が数多くあるな、センス、サービスも素晴らしいな、と満足を感じるようなメンタルなソフト面にお金を使っていたきたい。神戸は商業と観光の二つのラインですから、観光やショッピングを案内しPRできるような指導や地図を作るなどのサービスを大事にして、と観光と商業の相乗効果をもたらすことです。

— 原点に戻ればメンタリティーが神戸の良さだったような気がします。今日は楽しいお話、辛いお話などたくさんうかがい、ありがとうございました。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町6丁目5-1
TEL (078) 303-3311

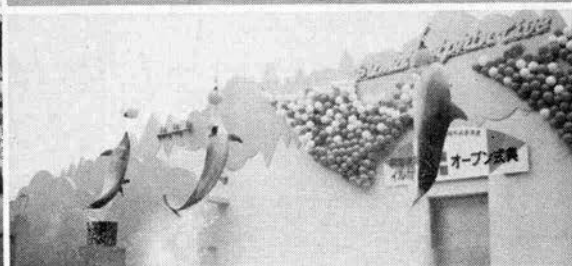
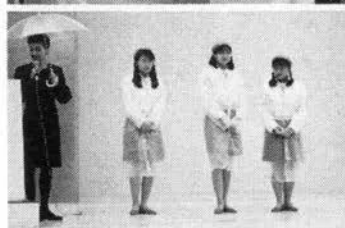
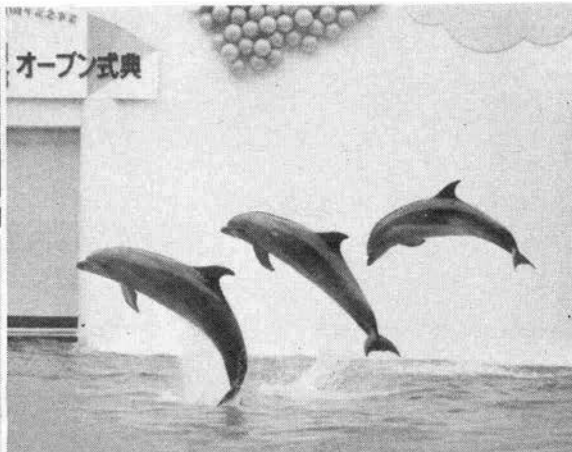


話題のひろば

<I>

□神戸市制百周年記念事業
神戸市立須磨海浜水族園

イルカライブ館 オープン!



右(上・下)見事の一言ノジャンプ・ジャンプ・ジャンプ 左(上)宮崎辰雄神戸市長らによる除幕セレモニー (中)ライブショーに花をそえる、コンパニオン「ドルフィーヌ」のみなさん(下)イルカの演技に子供達も大はしゃぎ

神戸市制百周年記念事業の一つとして、整備が進められていた、神戸市立須磨海浜水族園のイルカライブ館が完成し、三月二十七日、オープン式典が午前十時より行なわれた。

当日はあいにくの雨となったが、宮崎辰雄神戸市長ら関係者の他、近くの幼稚園や小学校の子供達が招待され、初めて見るイルカの演技に観声をあげた。

同ライブ館は、広さ千三百平方メートルの鉄筋コンクリート造りで、ショープール、トレーニングプールの他、千七百人程度を収容できる観客席を備えている。

イルカライブとは、イルカの特性である音への反応の良さ(エコーロケーション)やジャンプに代表されるダイナミックな演技と人懐っこさを生かし、観客参加による人とイルカの「ふれあい」を大切にしたいショーで、同ライブ館では八頭いるバンドウイルカのうち三頭が登場、しゃれたコスチュームのコンパニオン「ドルフィーヌ」とともに、ハイジャンプ、ランドディングなどの演技を楽しませてくれる。

同水族園は、人と水族との生き物同士の出会いを大切にしたい公園として誕生、人気を呼んでいるがライブ館の完成で、また新しいライブセッションが奏でられる。

話題のひろば

<II>

□5月竣工式を前に

ホテルオークラ神戸 大石社長内入会



右上は大石社長が宮沢常務などスタッフ紹介。神戸西ロータリークラブも事務所をホテルオークラ神戸に。大石社長を囲んで(左上)藤本統紀子さんもお祝いにかけつけて、打入りソバで乾杯。野村そこう店次長、上島珈琲社長も四十七士のメンバーになって乾杯。

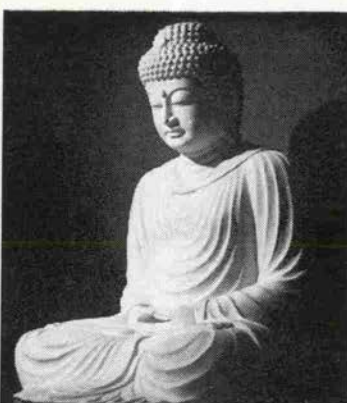
「風さそう 花より団子と我も又
オークラ神戸に、誰と泊らん」
と、朗々と声をあげて生田神社の
加藤官司が、祝詞の後に一句をご
披露。やんやの喝采をあげた。
三月十五日の午後六時半より、
加納町の「娑婆」(森川洋子ママ)
の店内において、ホテルオークラ
神戸大石邦雄社長の、就任を励ま
そうと、有志による集いが開か
れ、約七〇名が相集った。

大石社長は、東京から精鋭四十
七士のベストスタッフを引きつれ
て、五月十二日の竣工式と、六月二
二日の開店に向けて全力投球中だ
が、初めての関西エリアの出店と
あって、スタッフと共に泉岳寺詣
りをし、毎年十二月十五日の夜打
入会を恒例にしている「娑婆」で、
ママ手づくりの四十七士の陣羽織
を着ての内入会とあいなった。

大石社長は勿論大石内蔵之介。
大石主楨は、宮沢常務と、皆それぞ
れ趣好をこらした粋な出で立ち。
堂賀のおやじが、ソバを仕上げて
塩見まんじゅうに、日本酒が出る。
「東京からやってきた私共のため
にこのような集いを開いて下さり
ほんとうに感謝します。施設、料
理、サービスを常にベストを保っ
て、親切と人の和を大切に、神戸
のオープンにそなえたいのでご協
力を」と、アットホームな神戸ら
しい集いに感激の面であつた。

□兵庫大仏平成に再建―能福寺

兵庫の大仏つあん 待望の地鎮祭



<上左から>・大仏再建地鎮祭法要の様子。大仏尊像原型

<下左から>・地鎮祭を迎え、関係者の想いもひとしお。雲井世雄住職による地鎮の儀式。奉賛会会長の金井元彦・元兵庫県知事

四十五年ぶりに兵庫大仏再建計画が進んでいる、神戸市兵庫区北逆瀬川一の能福寺（雲井世雄住職）で二月二十八日、待望の大仏台座造営の地鎮祭が行われた。

兵庫大仏は、明治二十四年、兵庫の豪商南条莊兵衛の寄付で建立された高さ八・五メートルの大きな青銅仏。"兵庫の大仏つあん"と呼ばれ、広く神戸市民のシンボルとして親しまれていた。しかし、第二次大戦中の昭和十九年、金属回収令によって供出、解体され、台座だけを残した状態となった。

戦後幾度か再建の話も持ちあがったが、資金の面などで折り合いがつかず、再建は実現しなかった。五年前に地元商店街などの後押しもあって「兵庫大仏再建奉賛会」（金井元彦会長・元兵庫県知事）が発足、再建計画が具体化してきた。「やっとここまでこぎつけたという感じです。しかし、マラソンに例えれば、まだまだスタートしたばかりで、これからがたいへんです」と、雲井住職。

新しくなる兵庫大仏は、高さ十メートル（台座共総高十七メートル）重さ五十トンとなる。完成は平成三年春の予定。

・大仏さまの銅材寄進のお勧め

一人でも多くの方に大仏作りに参加してほしいとの願いから寄進用の銅版を考案しました。大仏像の一番大事な顔・頭部を塑造するために使います。2000円。詳しくは能福寺内兵庫大仏再建奉賛会事務局まで TEL 078 (652) 1715

話題のひろば

<IV>

健全な精神は 健全な身体に！

■アシックス四十周年と

鬼塚喜八郎さん叙勲を祝うパーティ



(上左)あいさつに立つ鬼塚さん (上右から)祝いの言葉を述べる宮崎市長、貝原知事、石野会頭 (中)風月堂・下村社長、ワールド・木内会長、伊藤ハム・伊藤社長他とともに (下右)松本さんの舞 (下中)望月さんの勲の書 (下左)お祝いにつけつけた渡部さん

華やかなバックグラウンドミュージックが流れるなかを、レーザ光線が飛びかうという、いかにも国際的企業アシックスらしいオープニングで始まったのが、3月10日、神戸ポートピアホテルで1300人の出席者を集めて開かれた同社の「創業四十周年・鬼塚喜八郎叙勲謝恩パーティー」。司会を務めたのはサンテレビの村上和子さん。

オープニングに続いて、今度は一転して、しっとり日本的に、地唄の松本尚時さんが、大和楽「あやめ」を踊る。そして望月美佐さんの勲の書へと続き、望月さんは鬼塚社長のモットー「健全な精神は健全な身体にやどる」をステージで書き上げた。

いよいよ鬼塚社長があいさつに立ち、年齢を感じさせない朗々とした声で「まだ戦後の混乱の残る日本で、非行に走る少年を、何とかスポーツを通じて立ち直らせた一心だった」という、創業時の話を披露。出席者に深い感銘を与えた。

そして祝いの言葉が貝原兵庫県知事、宮崎神戸市市長より述べられた後、石野神戸商工会議所会頭が乾杯の音頭を。

なごやかな会食の途中、フィギュアスケートでおなじみの渡部絵美さんがかけつけ、鬼塚社長にキスをする一幕も。またよせられた祝電も、竹下首相、サランマンチIOC会長など多彩であった。

話題のひろば

<V>

■甲南大学「神戸っ子のこうべ考」

ユニークな「神戸学」

甲南大学に開講

ふまじめなタイトルでまじめな神戸学を——との呼びかけが発端で「神戸っ子のこうべ考」という講座が、甲南大学に4月10日からお目見えすることになった。経済人、文化人、宗教家など神戸やその周辺に在住するさまざまな分野で活躍中の人が、それぞれの立場から神戸について自由に論ずると

して泥臭さのある神戸が「世界で一番好き」という辻田さんの熱意と舵取りに期待しよう。

上島さんは「神戸とコーヒー」を歴史的、風土・地理的、文化的な視点から論ずる。輸入第一港であるとともに発信基地でもある神戸。個性化・高級化・ファッション化していくコヒー文化。伝統と機能を有する神戸ならではの講座といえよう。

西村さんは「神戸と酒」をテーマに、日本酒のメツカである灘の酒の特徴と歴史を紹介しながら、酒の利き方、酒と料理とのかわり、酒と人生等々について考察する。市内の公共



辻田 忠弘 さん

いうユニークな試みで、学生の人気を集めそうだ。

辻田さんは同

大学理学部教授・辻田忠弘さん。

講師陣は上島珈琲社長の上島達治さん、沢の鶴社長の西村隆治さん、彫刻家の新谷琇紀さん、生田神社宮司の加藤隆久さん、サンテレビディレクターの村上和子さんから多彩な顔ぶれ。

つぎに主な講師の講義内容を紹介すると——

まず辻田さんは「神戸考概論」として全体の案内役を務める。国際的でスマートで、どこことなくきどったところがある半面、港街と



新谷 琇紀さん



加藤 隆久さん



西村 隆治さん



上島 達司さん

的空間に設置されている彫刻も28余点を数えるなど、緑と彫刻のある街づくりに取り組んできた神戸。新谷さんは彫刻家の視点から「神戸と芸術」を論ずる。

加藤さんは「神戸における神と人との出会い」について、神戸の風土・文化の特質を考えながら、神戸と宗教のかかわりを説く。国際宗教都市でもある神戸の一面が浮かび上がる。

神戸ビール、灘の酒と並ぶ神戸の味——洋菓子とは、いまや食文化の極みとさえいわれる。「神戸と洋菓子」をテーマに村上さんが、暮らしとのかかわりも含めて面白い講義をしてくれそうだ。

さらに、伊藤ハム社長の伊藤研一さんが「神戸肉と神戸の食肉産業」大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館領事のガブリエレ・ヴェーバーさんが「外国人の見た神戸」日刊現代専務取締役の南豊太郎さんが「神戸と華僑」神戸新聞編集委員の有井基さんが「神戸・女まち」箕面自由学園理事長補佐の田上綱彦さんが「神戸とあそび」を論ずるなど、総勢21名の講師が壇上に立ち、独自の角度から「神戸論」を展開する予定。

神戸を心から愛する人々が自分の思うままに論じ、あらゆる側面から総合的にとらえることで、神戸の魅力がまた一段と冴えてくる

話題のひろば

<VI>

■第二回洋菓子天国K O B E

洋菓子を作るも食べるも

神戸のエスプリ



村上 和子さん

ハイカラ神戸のイメージの一つ
洋菓子を、盛りだくさんのイベン
トと共に味わおうという催しが、
五月三日(水)～五月九日(火)
のゴールデンウィークに大丸神戸
店で開かれる。

「神戸市制一〇〇年記念・第二回
洋菓子天国K O B E」(主催・神
戸観光キャンペーン推進協議会)。
昨年の第一回が好評で、神戸で
の洋菓子の人気の高さから五万三
千人の入場者があった。今年はさ
らに充実して、神戸市制一〇〇年
記念イベントの一つとして、地域
あげての催しになる。

サントVのディレクターで「洋
菓子天国K O B E」の著者、村上
和子さんの監修により、洋菓子の
名匠達二十四人の力作が勢揃いす
る作品展は、神戸洋菓子作りの伝



藤田 康夫さん

(オリエンタルホテル (スイス菓子ハイジ)



前田 昌宏さん



安藤 明さん

(ユーハイム)



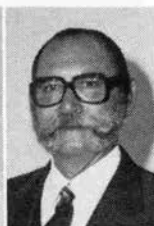
今西 明さん

(神戸ポートピア
ホテル)



フィリップ・
ビゴさん

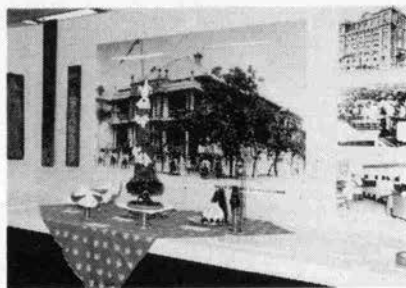
(ビゴの店)



ハリー・フロインド
リーブさん

(H・
フロインドリーブ)

の妙技を披露。一方、旧居留地の
人々のティータイムをイメージし
て作られたティーサロンでは、ケ
ーキと本格的な紅茶を味わうこと
ができ、当時を彷彿させるお菓子
やティーカップの展示もある。代
表的な店による洋菓子店街も出現
するのでファッショナブル神戸の
ゴールデンウィークに欠かせない
魅力的なゾーンになりそうだ。



居留地のティータイムのイメージ

統を受け継ぎ神戸ハイカラのエス
プリを見せてくれる筈で、名匠の
腕の冴えが見もの。また市制一〇
〇年記念として、県洋菓子組合同
員の共同制作で、「お菓子で作っ
た居留地の街並」(仮称)を作り、
旧居留地や開港当時の港の景色が
甘い香りを漂わせて再現される。
さらに会場には実演コーナーが
設けられ、名匠達が日替りで作り
方教室と、こういうイベントでな
ければ見られないデコレーション

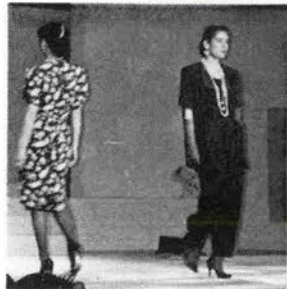
■ LET'S BEGIN GOLF

元町のレディー・スゴルフ専門店「バティーズ」は、カラフルなゴルフウェア&グッズがディスプレイされている。やまもと寛斎のゴルフウェアコレクションのレディー・ス版「寛斎レディーズ」がデヴューしたのだ。本来の寛斎の鮮やかなカラー・パターンと違い、少しトーンを抑えたカラーになっている為、カジュアル・ルックとしても充分楽しめる。



色づかいが楽しみな
“KANSAI レディーズ”

又、同店では「バティーズ」を結成しており、メンバーを募集している。入会費は無料。レッスン教室、コンペ開催と、「ゴルフをやってみてかな」なんて思っている女の子には嬉しい特典がいっぱい。ひとりでもゴルフが始められる「バティーズ」からの贈りもの。
■中央区元町通1-12(南京町・北側)
■078-33212118



エレガンスの真髄
GIVENCHY

★「パリに接する」ジバンシイのエレガンス
ジバンシイは「エレガンス」の言葉が似合デザインには少ないが、3月4日オリエンタルホテルで開かれた神戸大丸の「新春・夏ジバンシイのオートクチュール・コレクション」(約30点は「パリに接する」オマージュ) (貸)

辞め」と題したテーマで、パリの美しさ、女性達、芸術家たちの様なエレガンスを随所に見せたショーだった。

一番印象的なのは、ベージュのストウの長目の格元、ワンピース/写真・水玉のドレス(の深いV字の格元が、ブラジャーなしでハットする新鮮なお色気、膝上丈の軽やかさ、大きなオガシの白い持たせ、シタクなど)に若々しさを感ぜさせていた。色は、ネイビーブルーとホワイト、ブラックとホワイト、または花柄やドット、幾何学柄で地味目。

★「ミオス」「ペリーエリス」同時オープン
さんブラザ3Fの「まさ」が3月2日、大きなイメーτζチェンジ。上品な色づかいで評判の「ペリーエリス」、そして神戸で初めてデビューするブランド「ミオス」の2店展開になった。

「ミオス」はスタイリングハウスの概念を持った新タイプのショップ。「フィッティング・アナリスト」と呼ばれるアドバイザーに着こなしてからアフターケアまで全てお任せ。35歳前後のニューリッチミセスを対象にスタートしたが、オープンして約2カ月、ミセスだけでなくエレガントな大人のファッションを求めている幅広い年代にウケている。

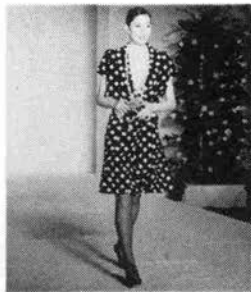
春夏物の中では、やはりスーツが今一番人気があるのか。素朴の良さも見逃がせない。サイズで悩んでいるあなたも「ミオス」でベストコーディネートを手に入れよう。



しなやかなライン
大人の女性に贈る Mios

■さんブラザ3F「ミオス」■078-3321217
6F「ペリーエリス」■078-33310950

★「地中海」をお届けします
エレガントなファッションでアダルト層に



「サンサカエ」
春夏コレクションより

人気の「サンサカエ」の春・夏物のファッションショーが3月8日、新神戸オリエンタルホテルで開かれた。

今回はイタリーより直輸入のGIORGIO ARMANIを中心とし、「地中海」をメインテーマとして、70点が披露され、冬に遊覧したような肌寒い当日、会場には一足早く春風が通り抜けた。

上質のウール・シルク、また夏物には綿・麻・シルクと天然素材の良さを生かしたシンプルでデザイン。春物のニットには、赤・白・紺などの、きりしたカラーが多い中で、淡いオレンジのワンピースの軽やかさが目立っている。

シックな雰囲気の中にも気取りのないファッションで、会場に併設された即売コーナーはショーが終わったあととくさんの人で賑わっていた。

■本店■078-33315121 レディーズ■078-33178855

★ビューアなハート、描いてみませんか?

身近な動物やいろんなものをあなたの感性で絵にすれば、それがメルヘンイラスト。ハガキを利用したこのコンテストなら、手軽に楽しめるはず。審査員はカラーイラストの魔術師と呼ばれる永田磨さん。あなたのファンタジーランドをお待ちしています。

●応募方法イラストを描いたハガキを郵送。表に住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先、勤務先の電話番号を明記●作品テーマ自由、動植物の2部門●締切4月28日消印有効●大賞1名、優秀賞3名、入選50名、準入選100名

●応募・問合せ〒550大阪府北区我野町2-19講談社ビル5F「メルヘンイラストハガキコンテスト」係 電話(312)33072

春色コロンに、誘われて。

'89 SPRING COLLECTION



serizawa
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店

■P-4ショップ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



お酒落のための
特典いろいろ
1枚のカードから

セリザワカード



「ごめんなさい、先約があるの。」

というかわりに
彼女は笑顔を
残していった。

女性のエレガンスを追い求め、デザインする国際派クリエイター、ヴァレンティノ・ガラヴァーニのドレス。この春夏も、アルタモーダの大御所は、洗練されたコレクションをくりひろげます。

■ (ヴァレンティノ・ガラヴァーニ/ミス V) ワンピース
(ウール85%・ナイロン15%) 195,000円

(価格は、税抜き価格です。)

WORLD RECEPTION

ワールドレセプション

GiamVersace

MISSONI

valentino garavani

GIANNI
ERRE

erreuno
MILANO - ITALY

GIANNI MARCO VENTURA

■ 本館3階

—— (ワールド レセプション) ——



aoi



Salvatore Ferragamo



お求めは各ブティックで、どうぞ。

●ブティック アオイ
神戸市中央区三宮町2-11
078-391-3985

●大丸神戸店3F フェラガモ ブティック
神戸市中央区明石町40
078-392-7628(直)

●大丸神戸店ブロック30 ヴィンサント
神戸市中央区播磨町20-1
078-321-3100

春のひとしずくを、そつとすくつてみてください。
春から初夏への彩りは、パールの輝きで……。



WHOLESALE & EXPORTER of Natural Pearls
**KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.**

Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)

TEL (078) 221-3170

10:00AM~6:00PM 無休

東京 / 赤坂・銀座・青山 大阪 / 心斎橋

※神田 宏 モダンジュエリーコレクション

4月20日~24日 10:00AM~6:00PM 於木下真珠オーダーサロン

神田 宏先生の新作ジュエリー展です。ご来店をお待ちしています。



コパン・ワンピース(¥36,000)

Fashion PROMENADE

Vol. 2

さんちか店のお客様
上田理恵さん

重いコートの季節が終わり
いよいよお洒落の春到来。や
わらかな陽差しにつつまれた
ウィークエンドとパステルト
ーンの相性は抜群です。きっ
と何かいいことがある、そん
な予感がする午後。

——— ポートアイランド・北公園にて

KOBE
MA.SA

さんちか店 (078) 321-4545
宝塚ファミリーストアー店 (0797) 73-5359
千里阪急地下街店 (06) 831-0756
須磨パティオ店 (078) 792-5652
加古川店 (0794) 25-5514
さんブラザ店 (078) 331-0950

ロマンティックを浴びる、時間。

18周年記念

チャリティ 100円

ハーブ
薬草浴

4月20日(木)

朝10時～夜1時(受付は夜12時まで)

サウナ

薔薇のハーブバス

4/20(木)・30(日) いつものハーブバスが模様変えます。

ハーブサウナ

冷水超音波バス

温水バイブラス

マッサージシャワー

6つのバスの

サウナコース1,900円が

この日だけ100円に!

PRESENT
さらに、プレゼントや
特典も、もれなく!

●当日みなさまからお寄せいただくサウナ料金は、
全額福祉施設に寄付いたします。
100円以上いくらでも、あなたの気持ちをお寄せください。

サウナコース(通常) / 1,900円

マッサージ / 2,800円 オイルマッサージ / 5,500円

ボディケア / 3,500円～6,000円

フェイシャルケア / 4,500円～5,500円

今日からきれい!

神戸 レディスサウナ

神戸市中央区下山手通2-2-10 ●三宮生田新道ワシントンホテル向かい

営業時間 朝10時～夜3時
年中無休

☎078-321-4742

全日本サウナ協会 認定サウナ施設
ワシントンホテル 三宮生田新道
神戸市中央区 下山手通2-2-10
三宮生田新道
JR三宮駅 徒歩10分
三宮生田新道
三宮生田新道
三宮生田新道

神やのお嬢さん

〈84〉

日本的で 淑やかなお嬢さん

林 佳代子さん

〈甲南女子大学
文学部英文学科1年生〉

日本的で淑やかなお嬢さん。佳代子さんが私のところへお稽古に来られたのが二歳か三歳の頃でした。まだ「右」も「左」も解らないあどけない幼女でした。

それから一七年間、一生懸命お稽古に励まれ一昨年、お名取（藤間晃妃）さんになられました。

日舞だけでなく、水泳やお料理も得意な家庭的で明るく現代的な一面も持ちあわせておられる素晴らしいお嬢様です。将来は良き家庭を持ち又、日舞の若手ホープとして活躍なされる事を期待しております。

カメラ・松原卓也

推薦者／藤間享晃

〈藤間流舞踊師匠〉



神々のお嬢さん (85)

おおらかで 明るく美しく

百崎

実花さん(左)

大阪大学工学部勤務

有紀さん(右)

甲南女子大学
文学部人間関係学科3年生

皆様が甲南育ちの御円満なご家庭でのびのびお育ちの御姉妹は、何の屈託もなく実におおらかで神戸っ子らしく明るくハキハキとした楽しいお二人です。

学生時代よりテニス、お菓子づくり、日本舞踊、華道など趣味も多く、又、最推薦者／藤間吉登代(藤間流舞踊家)近は書道のお稽古も始められ、現代的な面と古風な面との両方を兼ね備えられた、仲の良い素晴らしい御姉妹です。



カメラ・松原卓也

